

単元名 花や野菜をそだてよう

題材名「まめまめはかせになろう」

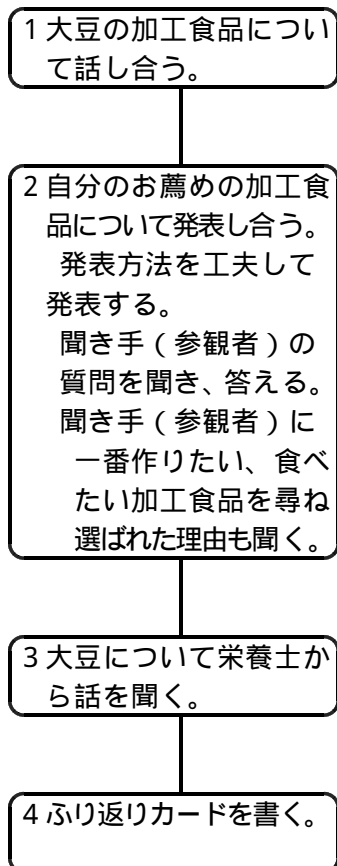
目標

- (1) 大豆が自分たちの生活に強く関わっていることに気付く。
- (2) 大豆の加工食品を知り、加工する過程に関心を持つ。
- (3) 大豆を加工する活動を通し、加工する大変さや手作りする喜びを味わう。
- (4) 自分が薦める大豆の加工食品を紹介できる。
- (5) 大豆の栄養を知り、進んで食べようとする。
- (6) 大豆ばかりではなく、いろいろな食品と組み合わせることによってバランスのよい食事ができることに気付く。

コンピュータを活用する利点

- ・発表に必要な写真や資料を皆に分かるように提示できる。
- ・作り方等、流れに従って、写真を提示できる。
- ・写真にコメントが書き込め、自分の発表がアピールできる。

授業の流れ



ICT 活用場面

自分が薦める大豆の加工食品の作り方についてプロジェクターを使って発表した。加工食品の作り方を写真をプロジェクターを通して提示することによって、視覚に訴える発表の工夫をさせた。また、写真には、思ったことや注意したことなど簡単なコメントを入れることで、興味をひく資料を作成した。



成果と課題

プレゼンを自分で写真を選んで作らせた。吹き出しを入れたり、説明を入れたりして、聞く側に分かりやすい資料に仕上げさせた。児童にとって、プレゼン作りは初めてだったので、慣れるまでは苦労していたが、理解できると次々に写真を貼り付け、資料を作った。自作の資料なので、説明の内容も自分で考えることができた。発表にプロジェクターを使用したことにより、児童は資料を見ながら発表できたので、堂々と言えた。また、聞き手側にも写真資料を提示することで、作業の過程がよく理解できた。

今回は、自分が薦める大豆の加工食品の作り方を説明するのにプレゼンを利用したが、事前に作り方を画用紙に書いて掲示しておいた。だから、プレゼンでの説明を聞き落としても、画用紙の掲示物を見れば分かるようになっていた。プレゼンを使ったときの課題は、見ているときにはよく理解できるが、後に何も残らないところである。この欠点を補うためにも、事前に掲示物を作る等の工夫が必要である。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	プロジェクター
使用ソフト名	キューブキッズ
使用教室	2年 普通教室